シネマ203

北ぶらくり丁の小さな映画館

たまにはちょっと、映画でも

見たい映画を見逃す心配のない映画館に［日時オーダー受付中］

- 毎月の土日祝を中心に、シネマ 203 が上映時間を設定してスケジュールを発表します。
- 見たいのに行ける回がない！ という非常事態には、お気軽に **日時オーダー** お寄せください。
  スケジュール空枠内でご希望の時間に、ご希望の上映作品を、追加上映いたします。
  （追加上映は、HP、Facebook、Instagram で随時更新しますので、どなたでもご来場ください）
- 当日券あり、いつでもふらりとご来場ください。
  なお、15 席の小さな劇場ですので、ご観賞の事前予約も各回 10 名様まで承ります。
  （HP のスケジュールページに予約フォーム有。電話、メール、SNS メッセージでの予約も歓迎）

最新スケジュール ➡

入場料金 （基本料金）

一般：1,700 円 ／ 大専：1,500 円 ／ 小中高：1,000 円

※ 当日入口にて現金のみ。各回上映 10 分前開場。全席自由席。受付順にご入場ください。
※ 特集上映など各種割引料金の設定あり。詳しくは HP やチラシにて。

アクセス［北ぶらくり丁会館 2F］ 本町公園より徒歩 1 分
北ぶらくり丁と本町公園を南北につなぐ細い通りに
［北ぶらくり丁会館］の鉄看板アリ。奥の赤い階段を 2 階へ。

【駅から徒歩／バス】
和歌山市駅より徒歩 10 分／バス 1〜2 分(800m)
和歌山駅より徒歩 25 分／バス 5〜9 分（2km）

北ぶらくり丁会館 ２０３号室

シネマ203 cinema203

10 月の上映

秋のアジア映画特集 ［9 月〜 10 月］

203
和歌山市中ノ店北ノ丁２２
北ぶらくり丁会館 ２０３号室
０９０−８１７２−７０７４
cinema203.com

CineBravo ! from KitaBra

シネブラボー ！［203 号室だより No.13］ 2024 年 10 月

謝謝、本町文化堂！ アジア映画でととのった充実の 2 ヶ月

「いつもどおりで？」「いつもどおりで」なつかしいシャボンの香りが漂ってくる素敵な映画**『本日公休』**で秋本番。じゃんじゃん横丁？ 七曲市場？ 田井ノ瀬？ 貴志川線？ どこか見覚えのある台中の風景の中、ゆっくり流れる時間に身をゆだねて……さて。今日もいい 1 日になりそうです。

マレーシアと台湾のあたたかい映画でととのったところで、そろそろ元気に冬支度に入りましょう。混沌のエネルギー炸裂の 90 年代ウォン・カーウァイ、代表作 2 本でぶっ放します。30 年ぶり、新鮮！ 鮮烈！ 12(土)・13(日)の Kisssh-Kissssssh 映画祭から 3 週間限定上映です。

シネマ 203［秋のアジア映画特集］上映作品（上映順）

マレーシア	タレンタイム	2009、ヤスミン・アフマド	9/1(日)〜9/20(金)
台湾	オールド・フォックス	2023、シャオ・ヤーチュエン	9/1(日)〜9 月末
マレーシア	細い目	2004、ヤスミン・アフマド	9/8(日)〜9 月末
香港	欲望の翼	1990、ウォン・カーウァイ	9/14(土)〜10/11(金)
台湾	赤い糸 輪廻のひみつ	2021、ギデンズ・コー	9/21(土)〜10/21(月)
台湾	顔（イェン）さんの仕事	2024、今関あきよし	9/28(土)〜10/25(金)
台湾	本日公休	2023、フー・ティエンユー	10/4(金)〜10 月末
香港	恋する惑星	1994、ウォン・カーウァイ	10/12(土)〜10 月末
香港	天使の涙	1995、ウォン・カーウァイ	10/12(土)〜10 月末

食欲の秋、芸術の秋。4 時間の至福の旅をじっくりと（休憩を挟みます！）

うっとりするような美味しい映画、一切の妥協を許さない究極の職人たちの真剣勝負にまばたきする暇もない究極の 4 時間をお届けします。

3 代にわたって 55 年間ミシュラン三つ星を獲得し続けるトロワグロ家の究極のおもてなしに、94 歳の巨匠ワイズマンが密着。極上のワインと繊細な一皿一皿に、とにかくお腹が空きます！ 実は、トロワグロが東京に出店していたとき、この名店が大切にする「酸味」を担ったのが、秋津野の柑橘農家、原農園さんなんです。豊かな和歌山にも、乾杯を♪

（ワイズマン和歌山初上映を祝して、劇場未公開の快作『大学』(13)の上映企画も進行中）

『至福のレストラン 三つ星トロワグロ』

監督･製作･編集：フレデリック・ワイズマン
配給：セテラ・インターナショナル
（2023 年／仏語・英語／米映画／240 分）

※10/20(日)13:00 の回は、オズズキッチンのサンドイッチセットもぜひご一緒に！（¥1,200／ドリンク付）詳しくは SNS で！

11 月は巨編登場。全 6 章・340 分でイタリアの歴史的事件に没入

事件です。5 時間 40 分です。1978 年にイタリアで元首相が誘拐されたって映画です。極左グループ「赤い旅団」が起こしたこの事件を、マルコ・ベロッキオ監督はかつて『夜よ、こんにちは』(03)という映画で「誘拐の内側」から描いていました。しかし今回は「外側」から、政府、法王、神父、警察、家族の側から描きます。6 つのエピソードはそれぞれ「発端」「混乱」「交渉」「対立」「家族」「告解」。ネトフリのドラマ一気見のような 1 日になると思います。10 月に続き、今から有給休暇もご検討ください。

『夜の外側 イタリアを震撼させた 55 日間』

監督：マルコ・ベロッキオ
配給：ザジフィルムズ
（2022 年／伊語・英語／伊映画／340 分）

■前・後編各料金■ 一般 ¥1,700
■前売鑑賞 2 回券■ ¥2,800 発売中！

新シリーズ開幕！ 第一弾は〈再発見“SEIJUN SUZUKI”〉!!

9 月の『欲望の翼』にあらためて驚いて、やっぱり見たくなりました。鈴木清順のゴキゲンな映画たち！ 折も折、渋谷の新生 Bunkamura ル・シネマで「鈴木清順監督生誕 100 周年記念『東京流れ者』４Ｋデジタル復元版」が上映されるとの一報が。念願だった日本映画の上映も兼ねて、11 月より〈再発見〉シリーズをスタートします。続く『けんかえれじい』『殺しの烙印』まで、渡哲也、高橋英樹、宍戸錠と一緒に型破りな年越しにいたしましょう。

『東京流れ者 4K デジタル復元版』

監督：監督：鈴木清順
原作・脚本：川内康範｜撮影：峰重義｜照明：熊谷秀夫｜
美術：木村威夫
キャスト：渡哲也、松原智恵子、二谷英明、川地民夫
デジタル復元：IMAGICA エンタテインメントメディアサービス
配給：日活 （1966 年／日本映画／83 分）

そして映画はつづく。

やっぱり秋はアジアでよかった。暑い暑い夏を乗り越え、皆さんの表情が少しずつ和らいできているのを感じます。そして、秋の風を感じながらゆっくり北ぶらくり丁商店街を歩いていると、あそこにもここにも、新しいお店と新しいお客様が。もう 1 年経ったんだなぁ。皆さまありがとうございます。

ドキュメンタリー作家、フレデリック・ワイズマンは劇場での上映機会が少ない監督の一人ですが、面白いのはやはり母国アメリカを撮った作品。この機会に、近年とびきり面白かった 2013 年の『大学』を数回だけでも上映したいと思っています。

2025 年の上映も決まりはじめています。来年は、映画と映画館にまつわるラインナップでスタートすることになりそう。あいもかわらず、小さな映画に潜む大きな驚きを求めて、日々、情報収集と試写にいそしんでおります。加えて、今の時代に登場する新しい映画を楽しむためにも、軽やかな過去のお手本も見ていきたい！〈再発見〉シリーズに御期待ください。

（北ぶらのジグザグ道より）